2026 年 10 月吉日

昼は仕事、夜は創作――「好き」をやめずに生きのびるためのヒントが詰まった、吉本ユータヌキさんのコミックエッセイ最新作！

『今日も 1 コマ描いてねる』2026 年 10 月 28 日発売

株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、取締役 代表執行役社長 CEO：夏野剛）は、2026 年 10 月 28 日に昼間は仕事、夜の創作の時間を持ち、「好き」をやめずに長く続けるためのヒントが詰まった『今日も 1 コマ描いてねる』を刊行しました。





【書誌情報】
書名：今日も 1 コマ描いてねる
著者：吉本 ユータヌキ
発売：2026 年 10 月 28 日
定価：1,760 円（本体 1,600 円＋税）
ページ数：176 ページ　ISBN：9784041163610
発行：株式会社 KADOKAWA
https://www.kadokawa.co.jp/product/322503000216/

見どころ①　吉本ユータヌキさんの実体験をもとにしたフィクション

メジャーデビューを目指して 10 年。高校卒業後、進学も就職も選ばず、夢を追い続けてきたバンドがメンバーの失踪によって解散しました。本作は、夢を失った 28 歳の青年・ミクニが、再び一生懸命になれるものを取り戻すまでの物語。著者・**吉本ユータヌキさんの実体験をもとにしたフィクション**です。



見どころ②　痛いほどリアルな創作を続ける「壁」

絶望の淵にいたミクニは、ある日、ゴミ置き場に捨てられていた猫型配膳ロボットと出会います。ロボットとの会話をきっかけに、子どもの頃の夢だったマンガ家を目指すことを決意。生活のために就職活動を始め、工場で働きながら、iPad でマンガを描き始めます。



しかし、待っていたのは**年齢への焦り**、**お金の不安**、**白紙のまま進まない原稿**、そして **SNS での評価をめぐる葛藤**。描き始めることも、続けることも、期待に応えることも、思っていた以上に難しいものでした。創作を続けようと思う誰もが直面する壁が、痛いほどリアルに描かれます。

見どころ③　好きだから続ける



そんななか、ファミレスで働きながらマンガ家を目指すクセの強い師匠や陽キャな猫型配膳ロボットとの交流を通して、ミクニは「誰かに評価されるため」ではなく「自分が楽しんで描く」という、創作の原点に立ち返っていきます。

昼は仕事、夜は創作。「メジャーデビュー」「商業誌連載」といったわかりやすい実績がなくても、日常の中で、ただ好きだから続ける。その尊さを、この物語は教えてくれます。読めばきっと、今夜からまた自分の机に向かいたくなる。**創作活動を愛する人**、そして**夢を追いかける人**に贈る、温かくも胸を打つ一冊です。

【主な目次項目】

第 1 話　生きてる意味が
第 2 話　レベル 1 つ 1 つ上げて進むしか
第 3 話　バグレベルの最強サブスク
第 4 話　生きていく上でのいいバランス
第 5 話　いいねもらうために描いてんの？
第 6 話　ほんとにやめるの？
第 7 話　やめるしかニャい じゃニャくて
第 8 話　しっかりご飯食べて 睡眠とって
第 9 話　「若い」とか「よくある」じゃなくて
第 10 話　変わりたいから、
第 11 話　なんのために描いてるんや
第 12 話　わからんと思う、でも
第 13 話　自分なりのペースで

【著者略歴】

吉本ユータヌキ（よしもと　ゆーたぬき）
1986 年、大阪府生まれ。滋賀県在住。18 歳から 8 年間活動していたバンドが解散。会社に勤めながらイラストを描き始め、心の機微をコミカルに描いた作品を SNS で発表している。X、Instagram、note の総フォロワー数は 20 万人（2026 年現在）。『「気にしすぎな人クラブ」へようこそ』（SDP）、『あした死のうと思ってたのに』『まるねこププと』（以上、扶桑社）、『何をするにもやる気がでないので 30 秒でモチベーションを上げる方法を教えてください…』（サンクチュアリ出版）など著書多数。

【お問合わせ】　※ 取材・記事掲載・見本発送承ります。メールでご依頼ください。

株式会社 KADOKAWA　ソーシャルパブリッシング局
ウェルビーイング編集部　趣味実用課　編集担当：廣瀬暁春
〒102-8177　東京都千代田区富士見 2-13-3　第二本社ビル 4 階
電話：090-6511-8274　Mail：hirose-a@kadokawa.jp